

檀信徒の皆様、コロナ禍も一段落となり、前の日常が徐々に戻りつゝある所となつてまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年の寺報にもお知らせ致しました通り、十一月二十日に晋山式（住職任命式）、当山二十八世大寿洞陽大和尚三十三回忌を執り行なうことが出来ました。無事円成出来ました事、改めて御礼を申し上げると共に、より一層の精進に努めて参ります。

今年度より檀徒会会长の内藤厚嘉



## 「報恩感謝」

東光寺住職

## 渋谷俊成

様、副会長の矢嶋康夫様が五月三十日の役員総会をもつてご退任となられました。長きにわたり東光寺の為にひとかたならぬご厚情とご指導を賜り、深く感謝致しております。これからも顧問としてご指導いただきますようよろしくお願ひ致します。そして新たに木下公夫様が会長に就任となりました。新会長のもと東光寺も更なる一步を踏み出していくます。

また、今年の三月に役員の高山幸雄様が亡くなりました。多大なるご尽力を頂きありがとうございました。心からご冥福をお祈り致します。

新たに役員となられた方のご紹介です。坂之下中組より佐藤元彦様、亀ヶ谷より高山輝男様となりました。今後ともご指導、ご協力をお願い致します。

ます。

振り返りますと様々な事があつた一年であります。私事ですが、昨

年十二月に三男快成が生まれました。新たな命と出会うことが出来るのは、過去支えて下さった方々のお力がついています。平和な世界が続いて行くよう、より良い世

界となつていくように、頂いた御恩に感謝し、東光寺も新体制となつて更なる精進を積み重ねて行きたいと思ひます。

合掌

暑さ厳しき折、お盆の季節も近づいて参りました。

さる五月三十日、本年度の東光寺檀信徒総代会において、会長の任をご指名頂き、浅学菲才高齢の身をも顧みずお引き受けさせて頂きました。今後共、俊成御住職はじめ、新旧役員、全檀徒会の皆様の御指導、御助言を頂きながら、会の運営に努めています。

八百を超える檀信徒の皆様と共に、これからも東光寺と檀徒会を守り続ける為、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



# 東光寺報

●編集・発行  
曹洞宗 東光寺  
番359-0012  
所沢市坂之下383番地  
TEL/04-2944-3531  
FAX/04-2945-2408

## 就任挨拶

檀徒会会长

## 木下公夫



かけて堂宇を建立し開山と伝えられ、以来四百有余年引き継がれて参りました。現住職 俊成様は法燈三十世となります。

現住職 俊成様におかれましては、大学卒業後、福井県にあります大本山 永平寺にて修行され、一年余りの厳しい修行をされました。檀信徒参拝旅行において永平寺に一泊研修をさせて頂きましたが、本山での修行僧は一汁一菜の食生活で、約百五十名の修行僧が毎朝四時起床（食事当番は三時に起床）し、坐禅堂で坐禅により身心を打たれていました。

この時の様子を思い出すたびに、普段の御住職には人格と愛語を感じています。

さて、東光寺様におかれましては、古くに書き残されたものから、所沢市久米にある本寺永源寺 七世 孝山大舜大和尚により開山とあり、坂之下村（現坂之下）の18軒で18年